

くすりのしおり

内服剤

2024 年 07 月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

製品名:ケルロング錠 10mg

主成分:ベタキソロール塩酸塩 (Betaxolol hydrochloride)

剤形:白色の錠剤、直径 7.1mm、厚さ 3.2mm

シート記載など:ケルロング 10mg、KERLONG10mg、MKC092



この薬の作用と効果について

β 受容体遮断作用と血管拡張作用により血圧および心拍数を下げます。

通常、軽～中等症の本態性高血圧症、腎実質性高血圧症、狭心症の治療に用いられます。

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。糖尿病性ケトアシドーシス、代謝性アシドーシス、徐脈、房室ブロック（II、III 度）、洞房ブロック、心原性ショック、肺高血圧による右心不全、うっ血性心不全、未治療の褐色細胞腫またはパラガングリオーマがある。
- ・妊娠、妊娠している可能性がある、授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（:医療担当者記入）
- ・本態性高血圧症（軽症～中等症）: 通常、成人は 1 回 1/2～1 錠（主成分として 5～10mg）を 1 日 1 回服用します。年齢・症状により適宜増減されますが、最高用量は 1 日 1 回 2 錠（20mg）までです。
腎実質性高血圧症: 通常、成人は 1 回 1/2 錠（主成分として 5mg）を 1 日 1 回服用します。年齢・症状により適宜増減されますが、最高用量は 1 日 1 回 1 錠（10mg）までです。
- ・狭心症: 通常、成人は 1 回 1 錠（主成分として 10mg）を 1 日 1 回服用します。年齢・症状により適宜増減されますが、最高用量は 1 日 1 回 2 錠（20mg）までです。
- ・いずれの場合も、必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・飲み忘れた場合は気がついた時にできるだけ早く飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合は、忘れた分は飲まないで、1 回分を飛ばしてください。絶対に 2 回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、飲むのを止めないでください。

生活上の注意

- ・降圧作用に基づくめまいなどがあらわれることがありますので、高所での作業、車の運転など危険を伴う機械の操作を行う時には注意してください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、徐脈、ふらふら感、頭痛、けん怠感、過敏症（かゆみ、じんましん、発疹）などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・めまい、息切れ、全身のむくみ [完全房室ブロック、心胸比増大、心不全]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄方法がわからない場合は受け取った薬局や医療機関に相談してください。他の人に渡さないでください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。